

第14回 兼六園ジュニアカップ

兼六園  
ジュニアカップ



先手取り逃げ切った  
⑦ホウライジェントル

金沢競馬場は  
お客さんが  
いっぱいだね

第14回 兼六園ジュニアカップ(東海・近畿・中国交流)

9月18日 金沢 11R 1400m: 稍重

馬番	馬名	所属	体重	性齢	斤量	騎手	着差	タイム	人気上がり
7	ホウライジェントル	愛知	485	牡2	55	柿原翔	1317	① 39.1	
3	ルード	笠松	430	牝2	54	大原浩	1321	③ 39	
2	エムザックゴールド	金沢	438	牡2	55	米倉知	11/4 1326	④ 38.9	
5	フレアリングメテオ	金沢	446	牡2	55	青柳正	6 1338	② 40.2	
4	オグリシチヘンゲ	笠松	380	牝2	54	藤原幹	11/4 1340	⑥ 41.1	
1	カネトシホマレ	金沢	396	牝2	54	田知弘	9 1358	⑦ 41.9	
6	オグリストーム	笠松	400	牡2	55	吉井友	4 1367	⑤ 42.8	

ハロン 13.10 上り 51.8 39.1 スロペース

1 角 7,4,3,2,1,5,6  
2 角 7,4,3,5,(2,6),1  
3 角 7,4,3,5,2,1,6  
4 角 7,3,4,2,5,1,6

馬単 ⑦-③ 380 円

3連単 ⑦③② 1060 円

★1着⑦ホウライジェントルはパドックでは気合いを見せず大人しい周回。しかし馬場に出ると一変。ややダッシュは欠いたが、1角手前で先手取ってからは流れを支配した。終始1~2馬身のリードを保ち、直線でも詰め寄る③ルードに影を踏ませなかった。★2着③ルードは中4日の強行軍。しかも初めての輸送。しかも笠松から3時間。かなり疲労はあっただろうが、馬体減りもなく好調そうな馬体だった。ゲート入りもスムーズで3番手の内々。3角からラチ沿いを押し上げ逃げる⑦ホウライを追った。★3着②エムザックゴールドは夏場の気配から一歩前進。じっくり中位の内に構えてひと脚に賭ける。3角から内をジワジワ進出。そのままラチ沿いを伸びたが、勝ち馬とは4馬身差。現状では仕方ないか？レース振りには進展見せた。★4着⑤フレアリングメテオはスタートからエンジンの掛りが悪く、2角回ってからは追っ付け通し。最後までトップギアにはいらなかった。原因不明？★5着④オグリシチヘンゲは2番手。そのまま折り合って4角まで辛抱したが、前走同様に詰めの甘さがあった。

観戦記…必ずしも一線級が集まった訳ではなかった兼六園JC。しかも重賞にしては7頭と寂しい。それも認定戦の規定が変わり選択枝が広がったから…。来年はどうなる？



優勝

馬場に出て気合い出た  
⑦ホウライジェントル



2着

中4日の強攻策も  
2着好戦③ルード



3着

内でじっくり溜めて成長を  
見せた②エムザックゴールド



4着

チグハグになった？  
⑤フレアリングメテオ